

副本

令和3年(行ウ)第66号 供託金返還等請求事件

原告 木原功仁哉








被告 国

被告第1準備書面

令和4年5月24日

神戸地方裁判所第2民事部合議B係 御中

被告指定代理人

布目	武	
池邊和史	史	
登村智恵子	子	
木太淳一	一	
表野朋美	美	
若林拓	拓	
石井康貴	貴	

第1 請求の趣旨のうち、予備的請求（原告の令和4年3月24日付け準備書面（3）による訴えの追加的予備的変更後のもの）に対する答弁

- 1 原告の請求を棄却する
- 2 訴訟費用は原告の負担とする

との判決を求める。

なお、仮執行の宣言は相当ではないが、仮に仮執行宣言を付する場合には、

- (1) 担保を条件とする仮執行免脱宣言
- (2) その執行開始時期を判決が被告に送達された後14日経過した時とすること

を求める。

第2 被告の主張

答弁書で述べたとおり、国会議員が公職選挙法92条及び93条を改廃しない立法不作為や公務員が原告に公費負担相当額を支給しないことに国家賠償法1条1項の違法はなく、原告の同法1条1項に基づく損害賠償請求は主位的請求についても予備的請求についても理由がないから、原告の請求はいずれも速やかに棄却されるべきである。

以上